

奄美紅白歌合戦よもやま話

指宿正樹

Amami Kōhaku Uta Gassenn

IBUSUKI Masaki

(株)セントラル楽器代表取締役
Representative Director of Central Gakki Inc.

要旨

(株)セントラル楽器では、現在新民謡の普及に力を入れている。目標はNHKの紅白歌合戦に奄美の歌を出すことであるが、その前に自分たちで紅白歌合戦を立ち上げようということで、2010年から「奄美紅白歌合戦」を開催している。紅白出場を目指して奄美が誇る柔道家、徳三宝の歌を作ってCDも制作した。これからもさまざまな試みを通じて奄美を全国にPRしたい。

報告

皆さん、こんにちは。

梁川先生と小川先生が学術的な話をした後に、私が雑談みたいな話を話したら、ちょっと鹿儿島大学の看板に泥を塗ってしまうんじゃないかと心配してしまいます。

奄美紅白歌合戦について話すようにという事ですのでこれから話しますが、何故、このイベントをやることになったのかを話す前に「奄美の歌」について触れたいと思います。先ず、奄美には、昔から歌われています伝統的なシマ唄と言われる奄美民謡があります。そして日本本土にはそれぞれの地域に根差した民謡という曲があります。

昔から歌われてきた情緒豊かな民謡ですが、時代と共に、日本では明治から大正にかけて諸外国と戦争に明け暮れたり、軍隊が活動する時代になってきた中で、変化が起きました。日清、日露戦争と続く中で、世の中が殺伐とし重苦しい雰囲気が流れるようになりました。

そこで若い文学者や音楽家たちが、明るい世の中にした、その為に明るい爽やかな歌を作ろうという動きが出て参りました、これまでのゆったりとした民謡ではなく、時代に合った新しい民謡を作ろうという動きです。それが全国に流行りだし、その流れが奄美にもやってきたのです。それが新民謡運動となって盛んになってきました。童謡もそうです。

全国的には野口雨情さんや中山新平さん、北原白秋さん達の作られた「ショショショジョ ジョジョジョノ庭は・・・」という「証城寺の狸囃子」や「あめあめ降れ降れ母さんが・・・」という「シャボン玉」等、童謡の可愛らしい歌、子供たちの教育にも良い影響を与える歌を作ろうと言う事で、皆さん頑張っていたわけですね。

それで新民謡の第一号は「船頭小唄」だそうです。若い方は知らないでしょうが、「お～れは～かわらの～かれすすき～」という出だしで、私の親父や叔父さんがよく歌っていましたので、未だに耳にこびりついています。

この曲が日本の新民謡の第一号です。その後、大正末期から昭和にかけて次々と新しい民謡を作ろうという運動が起こり、その流れが奄美大島にも到達したわけです。

奄美でも活発に新民謡運動が続けられ、太平洋戦争後は日本にも外国の音楽がどんどん流れ込んできました。アメリカからジャズやロック、そしてクラシック音楽等が。

しかし、奄美は戦後アメリカの植民地として8年間、日本本土と切り離されていた為、音楽的な情報も少なかったので、ひたすら新民謡運動に没頭していました。

昭和10年前後から三界稔、有川邦彦氏やその後輩の村田実夫、正男兄弟や転勤で奄美に赴任してきた公務員の皆さん方が多くの作品を作り出しました。これが基本となり、植民地時代も「日本に早く帰りたい、早く復帰したい」という望郷の歌や「離れ離れになっている肉親との別れを歌った歌とか、ほとんどが哀愁を帯びた心のどこかに深く響いてくるような新民謡が多く残されています。

奄美のシマ唄を基本としてシマ唄や八月踊りのリズムやフレーズが散りばめられている曲が多いのが新民謡の特徴ですね。

新民謡と言いましても若い方が歌っている姿を余り見かけないので、歌う新民謡運動をしなければならぬという思いと若者向けの新しい曲も作っていかないと新民謡の世界が消滅してしまうという危機感がありました。ちょうど2000年頃、新民謡のグループからシマ唄の応援ばかりでなく新民謡のテコ入れもしてくれと話がありました。

それで新民謡グループの後ろにくっついて、名瀬の公民館や笠利や瀬戸内の集会場や公民館でコンサートをやったり、地方巡業じゃありませんが施設や学校の校庭でやったり、とにかく新民謡を多くの方に聞いて戴き、「ああ、いい歌だなあ」と思ってもらったら、覚えて歌ってくれるだろうと言う事で小さなコンサートを続けました。

そんななか、カラオケスナックに行きましたら、奄美の新民謡が12、3曲カラオケに入っていました。皆さんご存知だと思いますが、今のカラオケはナビで検索しますが、当時は百科事典のような本からアイウエオ順で曲名を調べて歌っていました。

ところが沖縄の曲は特別にインデックス付きで「沖縄曲」と有り、区別されていました。

その時「くそ～、沖縄の曲は特別にページがあるのに、なんで奄美の曲のページはないのか」と悔しくてたまりませんでした。それはそうでしょ、たった12、3曲しかカラオケに入っていないのだから仕方ありません。

「それでは、500曲ぐらい曲があれば特別ページが出来るだろう、よ～し作るぞ」と言う事で、新民謡に続く奄美歌謡というジャンルをもっともっと盛んにし、若い方達に歌って頂けるように頑張ってきました。

その時、大変協力して頂きましたのが、「七色会」のメンバーの皆さんと、作詞家の有光あきら先生、作曲家の久永美智子先生でした。「よし、奄美を全国にPRしようよ」ということで、どんどん作って頂きました。

皆さん、お手元の資料をご覧になって下さい。これはセントラル楽器が主催したコンサートを列記しました。この他にも七色会主催のコンサートや他の団体主催のコンサートも沢山あります。「とにかく数多くコンサートをやり、みんなに覚えて貰いましょう」と「自分達でただ作って、自己満足で終わっていたらどうしようもないな」と言う事で、どんどん作って、コンサートも開催していきました。

そして2000年に12,3曲カラオケに入っていました。2004年4月17日に北海道から沖縄まで全国を網羅するカラオケ配信会社の第一興商のDAMとエクシングのJOYSOUNDの二社が100曲入れてくれました。

まだまだ100曲では歌本に特別な奄美ページは作って貰えませんので、まだまだ頑張ろうと言う事で2017年の先月現在305曲入っていると思います。

とにかく奄美を全国にPRしたい、そして奄美の人が、この新民謡、奄美歌謡をみんなで覚えて、どこにいても歌えるようにしたい。東京、大阪にいる出身者が望郷の気持ちになり、「よし、正月には帰るぞ」「盆には帰って親の顔を見に行こうか」という気持ちになって貰いたい、元気になって貰いたいと思います。

そんななかで、なんで紅白歌合戦なのかという事なんです。奄美を全国にPRしたい、只それだけです。奄美の曲を紅白に出したいという思いからNHKの会長さんに手紙も書きました。当時の総理大臣の小泉純一郎さんにも鹿児島県知事にも手紙を出しました。

「奄美の歌を紅白歌合戦に出してくれ」と。しかしどこからも返事がありませんでした。

昭和39年のNHK紅白歌合戦にこんなに大勢出ている、4曲も。

その夢をもう一度実現したいと手紙に書きました。

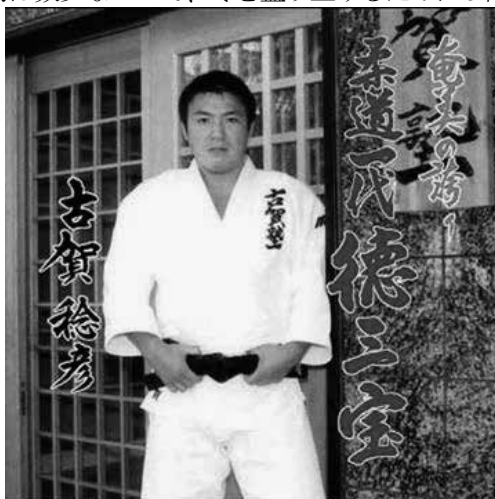
挙句の果てに、あまり大きな声では言えないのですが、天皇陛下にも出しまして、多分天皇陛下の手元には届いていないと思います。届く前に捨てられているでしょう。

まあ、そんなことをやりながら、諦めきれずに、出してくれないのなら奄美紅白歌合戦を自分のところでやればいんじゃないかと言う事で、2010年に「わきゃしまめ第一回奄美紅白歌合戦」ということで始めました。

その4年前から、夏に「奄美歌謡舞踊祭り」というイベントを4回やっていましたが、夏場はイベントが盛りだくさん有るけれど、冬場は数少ないので、冬を盛り上げるために5回目から「奄美紅白歌合戦」と名称を変えて第1回として12月にやることになりました。

紅白歌合戦と言いますとこういう思い出もあります。

奄美在住の方から、講道館柔道の四天王と言われている徳之島出身の徳三宝先生に捧げる詩を書いたので、是非とも曲をつけてCDにしたい、歌い手を誰にしようか、山本譲二はどうかと言う事になり「柔道一代 徳三宝」でNHK紅白歌合戦を目指そうというプロジェクトが出来ました。磁石になっている徳三宝ステッカーを5000枚作り、奄美を走っている車には全てこのステッカーを貼り付けてPRして頂こう、またご家庭の冷蔵庫にも貼って貰おうと考えました。歌い手ですが、山本



古賀稔彦氏のCD

譲二事務所に連絡を取り交渉しましたが、歌唱金額が折り合わず断念しました。そして次に浮かんだ歌い手はバルセロナオリンピックの柔道の金メダリスト古賀稔彦さんでした。たまたまテレビを見ていましたら、ある番組のゲストで出演されており、とっても性格のイイというか、温和で、人間的に出来ている方だと思い、ネットで調べて古賀さんの柔道場へ電話

をしました。

「奄美大島からですが、セントラル楽器の指宿と申します。実は古賀さんに1曲歌って頂きたいのですが」といろいろ説明したのですが、「私は歌手じゃありませんよ、私は柔道家です」「いえいえ、それは解っております」「いえ、何かの間違いです」とガチャと電話を切られてしまいました。それから徳三宝物語りの本や徳三宝にまつわる資料を郵送し届いた頃に再び電話をして「荷物が届いたと思いますが、読んでいただけましたか?」「いえ、全然封も開けていません、今それどころじゃありません北京オリンピックが近いものですから、女子柔道のコーチをやっています、オリンピックが終わってからで宜しいですか?」「いや、それでは間に合いません。1か月以内に読んでください」「いや、そんな暇ないんだけど、それよりも指宿さん、私は柔道家ですよ、歌手ではありませんよ」と言ったやり取りを何回しましたかね。「指宿さん、しつこいですね」と言われながら、もしかしたら奄美の特産品タンカンを送ったらOKが出るのではと思い送りました。しかしタンカン送ってもダメでした。しつこく交渉を続けて、やっと了解して貰い、こういう歌ですので練習して下さいとカラオケを送りお願いしました。

北京オリンピックが終わってから奄美に来られましたが、一泊しかできないと言いますので、到着された日に猛特訓してレコーディングしました。

しかし、これでは市販できないと思い、翌朝早くからまた特訓してレコーディングし直しました。

飛行機の出るギリギリの時間まで行いましたが、前日より上手になっていました。

聴いてみたい方はセントラル楽器でCD販売しています、2000円ですので、ぜひお買い上げいただきたいと思います。

まあ、そんなこんなで紅白歌合戦という名目でやってきました。

「わきや島ぬ奄美紅白歌合戦」というタイトルをつけて、サブタイトルに「打倒・NHK紅白歌合戦」としてこれまでやって来ました。

2012年の第3回目の時にNHKから取材したいと連絡がありまして、日本紀行「もう一つの紅白歌合戦」というタイトルで取り上げて頂き全国放送で流して頂きました。

一生懸命やっていると、奄美紅白歌合戦に出てみたいという歌手さんも出てきました。

わきや島又

第7回 奄美紅白歌合戦

紅組			白組		
奥綱	綱	代	泉	清	次
榊	あ	み	金	直	利
し	い	ん	中	敏	春
島	ち	み	中	江	章
	ひ	み	南	島	か
	と	み	久	桑	つ
	り	み	福	志	み
	久	美	嶺	永	雄
	美	智	森	勝	己
	子	子		博	信
	子				
司会:	伊東 静子		司会:	指宿 正樹	

<スペシャルゲスト>
三善 英史
NHK紅白歌合戦 3回出場!
奄美紅白歌合戦 初出場!
代表曲 【雨】 【円山・花町・母の町】

2016年
12月4日(日)
開場 17:00 開演 18:00
会場 奄美文化センター
(奄美振興会館)

入場料 一般(小学生以上)
指定席(1F) 前売 1,500円 当日 1,800円
自由席(2F) 前売 1,000円 当日 1,300円
※未就学児(無料)は観に抱いてください。

プレイガイド
じんのうち中央店、奄美ゆいセンター(会員割引あり)、サンサンランド、歌垣まぐみ、ヘアーサロンフランス、リョウゆう館、まつや、セントラル楽器、出演者

主催: セントラル楽器 TEL(0997)52-0530
後援: あまみエフエム、奄美新聞社、アマミテレビ、奄美メディアサービス、瀬戸内ケーブルテレビ、南海日日新聞社、朝日新聞社、KKB鹿児島放送、KTS鹿児島テレビ、KIT鹿児島放送テレビ、MBC南日本放送

三善英史さんが出演した第7回(2016年)のポスター

昨年はあの「雨」を歌って大ヒットした三善英史さんに出させていただきました。

次々に希望者が出てくることを期待しております。

そのうちNHK紅白に出場した方々を10名ぐらい集めてやれたら面白いねと話しています。そのうちNHK紅白歌合戦に勝てるような奄美紅白歌合戦に持って行きたいと思っています。とにかくですね、地元で作詞される方、作曲される方、そして歌手を育てていこうと言う事で奄美歌謡選手権も行っています。

しかし、10代、20代の若い方がなかなか出てこない、シマ唄のように中学生、高校生あたりの若い方が出てこないのも、その辺がちょっと悩みです。

若い人を育てながら、30代の元気な方にリーダーシップをとって貰いたいですね。

とにかくやっている人達が明るく楽しければいいなと思います。

明るく楽しいところにはみんなが集まってきましたし、暗いところにはゴキブリしか寄って来ません。明るいところには蝶々も飛んできます。是非ですね、奄美をもっと元気に明るくしていくと、東京から「ああ、奄美はイイね、羨ましいね、奄美に住んでみたい」と思わせるような楽しい島にもっていきたいというので、紅白歌合戦の第二弾、第三弾と新しい事にも取り組んでいきたいと思っています。いよいよあと一分となるところで、終わらせていただきます。帰りにはお土産を準備しております、先着50名様。「柔道一代徳三宝」古賀稔彦さんのステッカーです。またCDを是非聴きたいという方はセントラル楽器で販売しておりますので宜しくお願い致します。

本日はどうもありがとうございました。



「柔道一代徳三宝」のステッカー

奄美歌謡コンサートの歴史		2017.11.18 島の声・島の歌 奄美の「うた文化」を考える	
日程	開演	会場	タイトル
2001/08/26(日)	19:00	奄美文化センター	村田実夫メモリアルコンサート
2002/11/30(土)	18:00	名瀬市中央公民館	奄美物語りパートI「奄美物語り発売記念
2003/02/02(日)	18:30	瀬戸内町中央公民館(瀬戸内町)	奄美物語りパートII「奄美物語り発売記念
2003/11/28(金)	18:30	名瀬市中央公民館	奄美物語りパートIII「虹色の夢」発売記念
2004/11/28(日)	19:00	名瀬市中央公民館	奄美物語りパートIV「潮の風・空の花」発売記念
2004/04/17(土)	18:30	奄美文化センター	奄美新記録・新歌謡コンサート(カラオケ100曲配信記念)
2004/10/30(土)	19:00	奄美観光ホテル	「大人青年」出版記念祝賀会
2004/11/28(日)	19:00	名瀬市中央公民館	奄美物語りパートIII発売記念
2004/12/18(土)	16:00	日本教育会館・一ツ橋ホール(東京)	奄美の風「あなたに伝えたい
2005/07/17(日)	13:00	尼崎アルカイクホール(大阪)	奄美ファン大集合
2005/09/11(日)	18:30	奄美文化センター	第1回奄美歌謡選手権大会
2006/05/27(土)	18:00	元気の出る館(宇検村)	奄美歌謡コンサート
2006/07/30(日)	14:00	奄美文化センター	第2回奄美歌謡選手権大会
2006/10/15(日)	18:00	奄美文化センター	第1回奄美歌謡・舞踊祭り
2007/05/20(日)	18:30	奄美文化センター	新記録育ての朝・村田正男と共に
2007/06/30(土)	16:00	西古見集会場(瀬戸内町)	第3回奄美歌謡選手権大会
2007/07/29(日)	17:00	奄美文化センター	奄美歌謡普及コンサート
2008/03/16(日)	18:00	大和村中央公民館(大和村)	奄美歌謡普及コンサート
2008/05/17(土)	18:30	奄美文化センター	第4回奄美歌謡選手権大会
2008/07/27(日)	18:00	奄美文化センター	第3回奄美歌謡・舞踊祭り
2008/08/16(土)	18:30	奄美文化センター	古賀稔彦結団式
2009/05/16(土)	18:00	奄美文化センター	第5回奄美歌謡選手権大会
2009/07/26(日)	18:30	奄美文化センター	第4回奄美歌謡・舞踊祭り
2010/05/09(日)	18:00	奄美文化センター	第6回奄美歌謡選手権大会
2010/12/25(土)	18:00	奄美文化センター	わきや島ぬ 第1回奄美紅白歌合戦
2011/11/05(土)	18:30	セントラル楽器SFホール	奄美物語りパートV「歳月の旅人」発売記念
2011/12/25(日)	18:00	奄美文化センター	わきや島ぬ 第2回奄美紅白歌合戦
2012/05/06(日)	18:00	奄美文化センター	第8回奄美歌謡選手権大会
2012/12/01(土)	18:00	元気の出る館(宇検村)	わきや島ぬ 第3回奄美紅白歌合戦(宇検村)
2012/12/08(土)	18:00	りゅうゆう館(龍郷町)	わきや島ぬ 第3回奄美紅白歌合戦(龍郷町)
2013/05/12(日)	18:00	奄美文化センター	第9回奄美歌謡選手権大会
2013/12/21(土)	18:00	奄美文化センター	わきや島ぬ 第4回奄美紅白歌合戦
2014/05/04(日)	18:00	奄美文化センター	第10回奄美歌謡選手権大会
2014/11/30(日)	18:30	セントラル楽器SFホール	奄美物語りパートVI「奄美よ永遠に」発売記念
2014/12/20(土)	18:00	奄美文化センター	わきや島ぬ 第5回奄美紅白歌合戦
2015/06/07(日)	18:00	奄美文化センター	第11回奄美歌謡選手権大会
2015/12/06(日)	18:00	奄美文化センター	わきや島ぬ 第6回奄美紅白歌合戦
2016/06/05(日)	18:00	奄美文化センター	第12回奄美歌謡選手権大会
2016/06/04(日)	18:00	奄美文化センター	第13回奄美歌謡選手権大会
2017/11/03(金)	19:00	JJA会館(鶴津Aコブ2階)	どくのしま奄美歌謡コンサート
2017/11/04(土)	13:00	天城町防災センター	どくのしま奄美歌謡コンサート
2017/12/03(日)	18:00	奄美文化センター	わきや島ぬ 第8回奄美紅白歌合戦

2017.11.18 島の声・島の歌 奄美の「うた文化」を考える

タイトル

会場

開演

日程

主催

実行委員会

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七

七